

Topic

執務室内の換気について

～「密閉空間」を避けるために取り組めること～

保全指導・監督室

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、首相官邸ホームページにおいて「新型コロナウイルスの感染拡大防止とし3つの密を避けるための手引き」が公表されています。この中で、3つの密のうち密閉空間とならない対策として、こまめな換気が推奨されています。

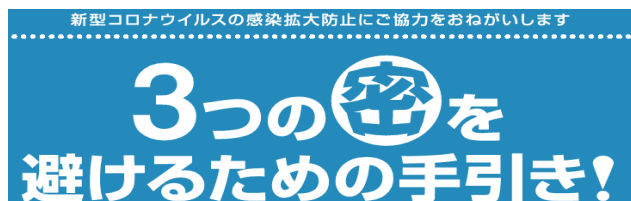
一般に、室内の換気は窓開けなどによる自然換気のほか、機器を用いた機械換気により行うことができます。機械換気の方式は、個別換気方式及び中央空調方式がありますが、特に中央空調方式が採用されている施設の場合、換気がどのように行われているかがわかりづらいという声をお聞きすることがあります。

そのため、今年度の北海道地区官庁施設保全連絡会議（今年度は書面配布による開催、8月に配布済み）において、一般事務庁舎における空調・換気設備の方式（代表的な3例）、及び、換気が行われているかを確認する方法についてご紹介しました。

希にですが、冷暖房の際、機械換気機器又は空調機の運転を行っていないケースが見受けられますので、この機会に、施設管理の皆様にて各施設の空調・換気方式及び機器の運転の状況を確認し、室内が『換気の悪い密閉空間』とならないよう、適切な維持管理を行って頂くようお願いいたします。

【参考資料掲載先】

○3つの「密」を避けるための手引き（首相官邸HP）

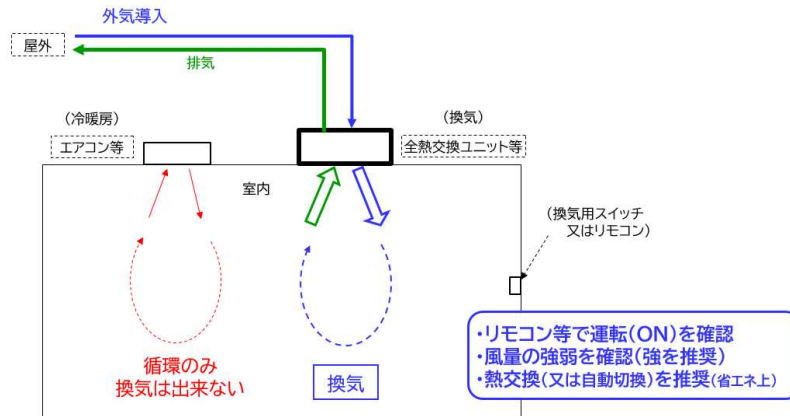


<https://www.kantei.go.jp/jp/content/000062771.pdf>

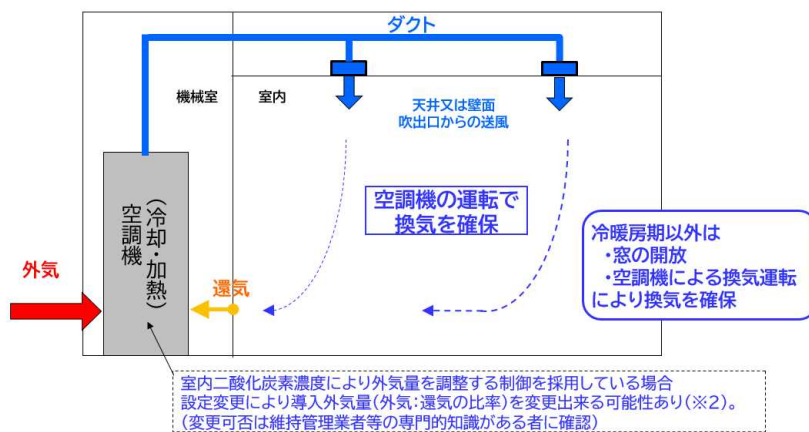
○新型コロナウイルス感染症制御における「換気」に関する緊急会長談話
（（公社）空気調和・衛生工学会、（一社）日本建築学会）

http://www.shasei.org/recommendation/shase_COVID20200323.pdf

・個別空調・個別換気方式の例

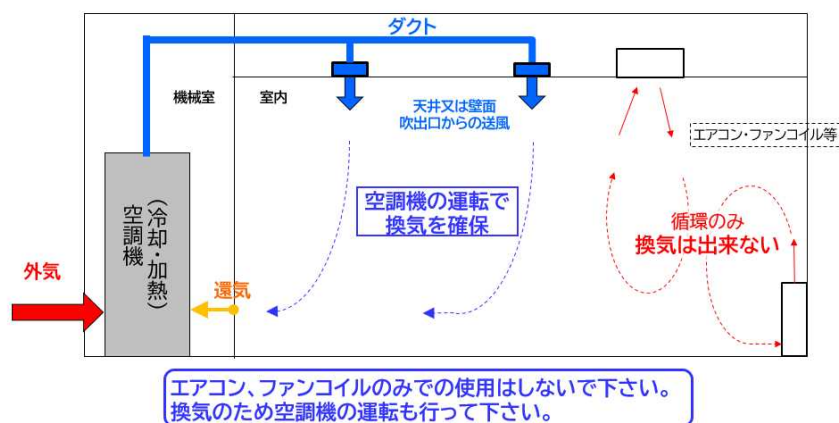


・中央空調方式の例①【全空気方式(※1)】



※1 全空気方式:空調機(ダクト)からの送風のみで、室内の冷暖房及び換気を行う空調方式
 ※2 導入外気量・空調機運転時間の増加により、エネルギー消費量・光熱費が増えることがあります。

・中央空調方式の例②【併用方式(※)】



※併用方式:換気は空調機(ダクト)からの送風、冷暖房は空調機からの送風と他の空調機器とを併用する方式。
 併用機器例～ファンコイルユニット、エアコン、パネルヒーターなど